

消防ヒヤリハットデータベース事例回答シート

【事故概要について】

1. 事故・ヒヤリハットの別	事故
2. 体験した事例の名称	水槽車で火災現場出勤途中、タイヤがバーストした事例。
3. 体験した事例の中心的要素	緊急走行中、突然左前輪タイヤがバーストし、緊急処置のため路肩へ車両を避難させた。 現場状況確認とともに、二次災害に努め路上に散乱したタイヤ片を回収した。
4. 体験した事例の原因・理由	平成12年2月に新車購入してからタイヤ交換はしてなく、頻繁に走行もしていない状態であり、タイヤ自体の使用期限が過ぎていたため。

【体験した事例の直接的な原因について】

1. 体験した事例の直接的な原因	
------------------	--

【体験した事例について】

1. 発生日時	平成21年6月25日 午後6時頃
2. 発生した当時の天候	曇り
3. 発生した活動現場	屋外：火災出場途中
4. 体験した事例の種類	
5. 事故の程度(ヒヤリハットの場合、仮に負傷したときの程度)	
6. どのようなことが起きたのか(起きそうになったのか)	爆発・破裂
7. 事例体験時の活動	火災出勤途上、[車両]
8. (7の活動中)どのような作業中に発生したか	その他：
9. 同様の体験は、これまでにどの程度の頻度で体験していますか。	初めて体験した

●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●

○当事者A	年齢[37]歳、勤続年数[11]年、現場経験年数[11] 年、階級[消防士長] 同様の活動 [初めて]、任務 [機関員]
○当事者B	年齢[28]歳、勤続年数[5]年、現場経験年数[5] 年、階級[消防士] 同様の活動 [], 任務 [隊員]
○当事者C	年齢[]歳、勤続年数[]年、現場経験年数[] 年、階級[] 同様の活動 [], 任務 []
○その他(当事者が4人以上の場合)	

●●●

	誰が(何が)	なにをした	その他・備考など
経過1	当事者A	車両の運転	機関員
経過2	当事者B	助手席	隊員
経過3			
経過4			
経過5			
経過6			
経過7			
経過8			
経過9			
経過10			
経過11			
経過12			

● ●

○事故の場合：事故が起きたのはどうしてだと思うか？

○ヒヤリハットの場合：ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思うか？

--

○心理・体調について

a. あせりを感じていた

・早く、現場到着や、活動をしなければならないという“あせり”を感じていた。	いいえ
・被害拡大が消防活動を上回っており“あせり”を感じていた。	いいえ
・周辺の野次馬などにより“あせり”を感じていた。	いいえ
b. 注意力が欠如していた	
・1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。	いいえ
・活動終息（鎮火等）や活動内容が些細だったため注意力を欠いた。	いいえ
・体調不良や疲れにより注意力を欠いた。	いいえ

c. 経験・知識が不足していた。

・活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。	いいえ
・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。	いいえ
・活動に対する経験が不足していた。	いいえ

d. 心身の不調があった。

・体調が悪かった。	いいえ
・悩み事があった。	いいえ

○装備・資機材について

e. 資機材の故障・不具合があった。

・装備・資機材自体に問題があった。	はい
・装備・資機材の使用 방법이誤っていた。	いいえ
・装備・資機材の対処能力を超えていた。	いいえ
・必要とする装備・資機材がなかった。	いいえ

○活動環境について

f. 障害物や自然環境(雨・濃煙)によって視界がさえぎられた。

・障害物(建物等)のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ
・特異環境(煙、暗闇、降雨等)のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ

g. 行動しにくい環境だった。

・狭隘な場所であった。	いいえ
・暑かった(寒かった)。	いいえ
・野次馬が多かった。	いいえ
・現場周辺の地理に不案内だった。	いいえ

h. 足場が悪かった。

・足元が躓いたり滑りやすかった。	いいえ
・足元の強度が不足していた。	いいえ

○指揮・管理について

i. 適切な指示が得られなかった(適切な指示を与えられなかった)。

・活動指示が得られなかった。(無線が通じない等。)	いいえ
・指示内容に誤り・偏りがあった。	いいえ
・指示内容が実施困難であった。(周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。)	いいえ

k. 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

・隊員の連携が不十分だった。	いいえ
・隊員が不足していた。	いいえ

○その他

l. その他の理由があった。

タイヤの使用期限が過ぎていたため。

【事故発生後の取り組みについて】



○注意力欠如、焦り等の対策について

この事案については、機関員の冷静な判断により大事には至らなかったが、一瞬の判断を誤れば大事故を起こした可能性があると思われる。

○装備・資機材の対策について

タイヤにも使用期限があるので、使用できると思っても期限を守り交換をしなければならない。

○活動環境の対策について

毎日の車両点検、定期的にも車両も走行訓練を行い、運転技術の向上や咄嗟の判断を養うようにしなければならない。

○指揮・情報伝達の対策について

現場詳細図

